令和
かわら版
諏訪形

第５号
諏訪形自治会
会長:稲垣敦史

令和三年度 諏訪形自治会役員 就任あいさつ

自治会長 稲垣敦史

四年前に引き続いて、本年もう一度自治会長を務めさせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

昨年来の新型コロナウィルス感染症流行により、例年行われている自治会通常総会も、本年は書面で行わざるを得ないなど、自治会活動にも大きな支障が出てきています。自治会員の皆さんの大切なふれあいの場ともなる自治会や公民館などの行事も開催しにくくなっていることはたいへん残念です。このような中、本年はともかく「安全第一・無理をしない」を優先する中で行事などのあり方について考え、実施していきたいと思っています。良いアイデアがありましたらぜひご提案ください。

一昨年、公民館南側の駐車場隅に「大型生ごみ処理機」を設置し、無料会員制で運用しています。会員数にはまだ余裕があるようです。生ごみの減量化のために、多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。参加を希望される方は自治会までお問い合わせください。なお、生ごみ処理後の肥料を家庭菜園などで利用していただくこともできます。また、公民館南側駐車場の南側には「多目的広場」も整備されています。こちらも「密」には十分にご配慮いただいた上で、おおいにご活用ください。

このところ、ごみ集積場所の管理にはたいへん困っています。上田市のゴミ出しのルールが変更になったことによる若干の混乱もあるようですが、明らかな「不法ごみ出し」もかなりの数あって、収集してもらえないものが増えています。何らかの方策を考えていかなくてはならないのかもしれませんが、収集日の確認やごみの分別徹底など、皆さんのご協力をよろしくお願いします。また、月に一度「資源物回収」にもご協力ください。

本年三月には、待望の「千曲川堤防工事の完成」と「上田電鉄別所線復旧」が予定されています。また、金窓寺川に大規模な遊水池を設ける工事も来年三月完成の予定で計画されています。工事にあたっては周辺住民の皆さんにご不便をおかけすることもあると思いますが、よろしくご理解ください。また、一昨年の豪雨の際にも問題となった屋外放送施設についても見直しが検討されています。このように、「安全・安心な諏訪形づくり」も進んでいますが、やはり日常的な自治会員の皆さん方のつながりこそが何よりも最大の防災であると考えています。そのような観点から、時節柄なかなか難しい昨今ではありますが、住民の皆さんのつながりをいっそう深めていくことができるような自治会活動でありたいと思っています。本年も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

副自治会長 窪田善雄

自治会長を補佐しつつ、来年度の自治会長就任に向けて修行することが副自治会長の役目です。引継ぎ以来、自治会の仕事が想像以上に大変であることが、ようやく分かってきました。自治会初心者の私にとって、この修行はなかなか厳しいものになりそうです。すでに一度自治会長を経験しておられる稲垣自治会長、窪田和人総務部長の遥かに遠い二つの背中を追いかけながら、必死についていくしかありません。不安はありますが、力を尽くす所存です。よろしくお願いいたします。

総務部長 窪田 和人

ここ諏訪形に住んで居るかぎり、一生の内に二度は回ってくるだろうと覚悟していた協議員ですが、一昨年に自治会長を務めたと思ったら巡り合わせが良いのか悪いのか、早くもその二回目が来て二度目の総務部長を仰せつかりました。おまけに十三年目の総務情報部員、二期目の社会福祉推進委員と大型生ごみ処理機運営管理委員会長を兼務する事と成り、どっぷりと自治会に浸かっています。

大きな事を言うようですが、総務情報部員として十二年間、歴代の自治会長をはじめ役員さんとの係わりを通して得た人脈と自治会活動に於ける各種情報を生かして、稲垣自治会長の下、目配り・気配りで縁の下の力持ちとして総務・庶務・雑務に努める所存です。尚、本年度の新たな課題として、ブロック長の役割についての見直しを検討したいと思いますので、皆様のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

会計部長 増澤 敦嗣

会計は、日々の支払いや入金、諸費用を記録し、科目を振り分け、口座と現金を管理する役目です。お金を扱う役目なので、何かとうっかりが多い私に務まるか心配ですが、監査の時に怒られぬ様、一年間、精一杯努めたいと思います。

平成三十年四月に父を亡くし、以来、母と二人で暮らしております。一昨年の大雨では、勤め先も自宅も千曲川に近く、ヒヤヒヤものでした。趣味は読書(ＩＦ戦記・ＳＦがメイン)ぐらいで、性格はのんびりしているとよく言われます。また、体のわりに気が小さいとも言われています。こんな私ですが、一年間、どうぞよろしくお願い致します。

社会部長 大沢 春美

昨年は、新型コロナウィルス感染症の影響により、幾つかの地域活動が中止となってしまう残念な年でありました。残念ながら現在も回復の見込みが見えておらず、皆様におかれましても日々不安を抱えるばかりの厳しい現実が続いております。

社会部は、地域親睦・交流を目的とした様々な行事を運営して参ります。自治会におきましても協議を重ね、安全を重視した判断をし、皆様が楽しく地域活動ができますよう運営して参りたいと考えております。至らない面も多々あろうかと存じますが、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

管理部長 村松 知有

管理部長の主な職務としては公民館の維持管理になります。皆様に気持ちよく公民館を使っていただけるよう努めてまいります。

回覧板でお伝えした通り、公民館利用予約方法が変更され、「公民館使用予定表」に使用者自身が記入することになりました。お間違えのないようにお願い致します。また、今年の公民館大掃除は、六月十三日(日)に第二ブロック、十月十七日(日)に第三ブロックが担当を予定しています。ご予定の程、よろしくお願い致します。

最後に公民館は諏訪形の大切な施設です。皆様が気持ち良く利用できるように使用後の掃除や整理整頓、ゴミの持ち帰りなど徹底していただきたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

生活環境部長 清水 匡

諏訪形地区の生活環境の改善・整備に、皆様とともに頑張っていきたいと思います。ごみ集積場所の管理、資源ごみ回収、河川清掃などには、区民の皆様のお力添えがどうしても必要です。なにとぞ、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

広報部長 中島 晃

十数年ぶりの協議員で、何かと不安ではありますが、精いっぱい頑張りたいと思っています。

広報部は、各戸配布、回覧配布のチラシ等の準備や掲示板のメンテナンス、訃報連絡の用意を担当させていただきます。不慣れなもので、何かとご迷惑をお掛けするかもしれませんが、皆様の方のご意見、ご協力をいただきながら無事に務めていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

土木部長 柳澤 實

道路・水路の改修や保全管理を担当します。「諏訪形まちづくり協議会」とも連携しながら、区民の皆様の要望を国や県、上田市に伝え、その実現をはかっていきたいと思いますので、なにとぞ、ご協力のほどお願い申し上げます。

安全部長　眞田　勇次

皆様、こんにちは。一言、ご挨拶申し上げます。安全部の主な活動内容は、防犯・防災・草刈り等です。しかし、昨今の新型コロナの感染拡大で、これらの諸活動にも計画変更や制限が出るのではないかとも予想されます。そのような状況ですが、まずは、三役の皆さんを中心として各協議員の皆さんとともに住みよい諏訪形地域構築のために力を尽くす所存ですので、ご協力のほどお願い申し上げます。

福祉部長　西尾　富美枝

福祉部といたしましては、五月健康講座、六月ふれあい会食会、九月寿賀の会、十月ふれあいスポーツ大会、十月くつろぎサロンを計画しております。昨年は、開催することが出来なかったため、今年は、皆様に楽しんでいただけますよう、盛大に開催できたらと考えております。多くの皆様のご参加をおまちしています。皆様のご協力お願い申し上げます。

地域部長　加々井　洋一

自治会の活動では以前に生活環境部員として参加させていただいただけですので、協議員としては何が出来るのか少し不安な点もありますが、気負わずに頑張りたいと思います。

今回、地域部長を担当させて頂くことになりました。主な活動内容としては「坪八家庭菜園事業」ということで私自身も少しですが家庭菜園をしていますので、耕作者の皆様と野菜作りについて一緒にお話し等をさせて頂きながら楽しく進めていければと思っております。不慣れな部分も多々あり、皆さまにご迷惑をお掛けすることもあると思いますが一年間よろしくお願い致します。

令和三年度
諏訪形自治会通常総会報告

本年度の総会は、新型コロナ感染症流行のため、諏訪形自治会始まって以来の書面による開催となりました。書面開催に際しての表決は、「自治会規約」第二十一条により、世帯ごとになります。諏訪形自治会は六三五世帯から構成されていますが、いずれの議案も、過半数の賛成で可決されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

なお、議事については、議事録を回覧しましたので、そちらをご覧下さい。

ちょとナナメに『諏訪形誌』を歩く(一)

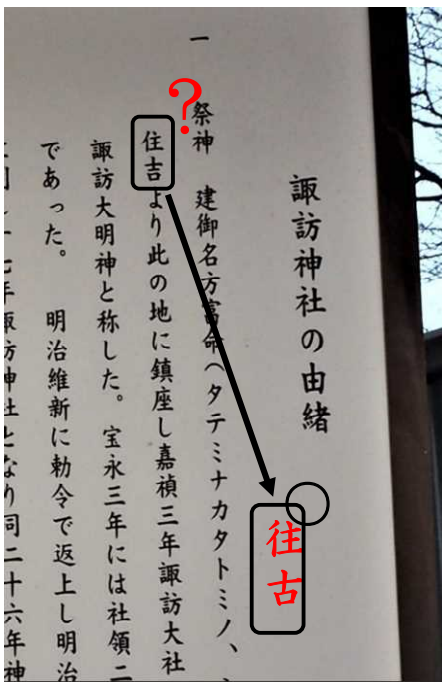
副自治会長　窪田善雄

『諏訪形誌』を片手に、少し別の切口で諏訪形を巡ってみようというシリーズです。一回目は、諏訪形の二つの神社を訪ねます。

○諏訪神社（Ｐ２６８～）

諏訪神社は、その由来が鎌倉時代にさかのぼる大変古い神社です。由来については、神社入口に立派な説明板があって読むことができます。ところが、その内容がちょっとおかしいのです。

冒頭に、「住吉より此の地に鎮座し」と書かれているのですが、諏訪神社が「住吉」から移ってきたという話は、どこからも出てきません。おそらく、平成二年に説明板を新調した際、「往古より」と書かれていたものを「住吉より」と間違えて写してしまったのではないでしょうか。説明板の誤りは重大です。「住吉」を「往古」に、急ぎ直す必要があります。今後、神社委員会や諏訪形誌活用委員会等と相談して修正の方向を探りたいと考えています。



○荒神宮（Ｐ２７１～・Ｐ２７８～）

荒神宮本殿は、正面の大きな拝殿の左を通って奥に進むと見えてきます。ここで紹介したいのは、この本殿にびっしりと群がる装飾彫刻のものすごさです。建築を支えるという本来の機能を無視して柱をズタズタになるまで彫り込む情熱には圧倒されます。

少々マニアックな話になりますが、エウヘニオ・ドールスというスペインの美術史学者が、人間には、調和のとれた理性的で完璧な美しさに憧れる一方で、おどろおどろしいもの、ゴテゴテしたもの、激情的なものの、ゾッとするものなどを本能的に志向する傾向があり、これが時代を超えてしばしば美術の様式として出現すると述べました。そして、その典型例である十七～十八世紀ヨーロッパのバロック芸術にあやかり、これらすべてを一括して「バロック」と名付けたのです。日光東照宮などに出現するゴチャゴチャ・ゴテゴテした過剰装飾傾向もその典型と思われ、「江戸バロック」と呼んでもいいのではと私は思っています。そして、諏訪形の荒神宮本殿もその典型といえるのではないでしょうか。

さて、本殿に群がる彫刻の中で、特に圧巻なのが、東西の側面を飾る群像彫刻です。それぞれ中国古代の伝説を題材にしています。西側彫刻は、周の武王が殷の暴君紂王を倒した戦いの説話で、武王が殷の武将に槍で襲われたとき、どこからともなく金龍が現れて武王を護ったという伝説が描かれています。

東側の彫刻は、春秋戦国時代の説話で、豫讓（よじょう）という刺客が主君の仇を討とうと橋で待伏せするも失敗、豫讓の気概に感じ入った仇からその服をもらい受け、せめてものけじめとそれを刺したあと自害したという漢代の史書『史記』記載の伝承に題材を取っています。ただし、これらの題材は、作者の宮大工竹内八十吉オリジナルのものではありません。当時の神社彫刻でよく採用されるテーマでした。おそらく、それらが水回りに関係するものだからです。龍は、雨を呼びますし、橋は水辺の付属物です。当時、建築にとって最大のリスクは火災でした。寺社建築に、水に関する装飾が多いのはそのためです。これらの彫刻は、精緻でありながらも素晴らしい躍動感と写実性を備えており、竹内八十吉の超絶技巧には、驚嘆すべきものがあります。この本殿が上田市指定文化財になっているのも当然といえましょう。

さて、いろいろ分かりにくいことを取りとめなく、書いてきましたが、こんな記事が一つのきっかけとなって諏訪形への愛着と関心が高まり、ようやく完成した『諏訪形誌』を読んでくださる契機になれば、このシリーズを手掛けた甲斐があるというものです。

次回の内容どんなものになるのか、まだ分かりませんが、引き続きお読みいただければ、幸いです。

公民館利用についてのお願い

管理部長　村松知有

①公民館予約方法の変更について

回覧でお知らせしたとおり、公民館利用の予約方法が変更されました。公民館北側壁面の専用ボックス内の「使用予定表」に使用者ご自身が記入してください。

公民館使用予約について、不便な点や要望などがありましたら、遠慮なく正副自治会長・管理部長やお近くの協議員にお伝えください。利用しやすい方法を探っていきたいと思います。

②トイレについて

感染症予防の観点から、トイレの手ふき用タオルは撤去し、代わりとしてペーパータオルとごみ箱を用意しました。ご利用ください。

③敷地内禁煙について

公共施設の敷地内禁煙を進めるという観点から、公民館敷地内にあった灰皿は撤去させていただきました。喫煙者の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解の上、ご容赦ください。

なお、これまで、灰皿の清掃は木内和子様が二十年以上にわたりボランティアで行ってくださっていたというお話をお聞きしました。このようなかたちで地域を支えてくださっている方がおられることには心から感謝です。本当にありがとうございました。

編集後記

新型コロナ感染症蔓延のなか、自治会総会が書面開催となるなど、大変な日々が続いています。このような中での「かわら版」ですが、少しでも自治会内交流のお役に立つことができれば幸いです。

編集責任（副自治会長　窪田善雄）